学校番号	４１６

令和３年度　芸術科[音楽]

教科	芸術	科目	声楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌うこと（主に混声四部合唱）を年間通じて学習します。
学習の到達度は実技テスト（パートごとに一人ずつの合唱テスト）で評価します。自信を持って大きな声で歌えるために音程をとることに時間をかけ学習する。音楽を形作っているもの（メロディの流れ、ハーモニー、和声等）と歌詞の関連を考えて歌えるようにしていく。そのために皆さんの馴染みのある曲を取り入れる。また、数人でグループを組んでのアンサンブルもします。音楽の楽しさを知り、自らコンサートにでかけるようになれば、人生が豊かになります。

2　学習の到達目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を育成する。
　合唱曲の表現内容を理解し、表現できる能力を養う。音楽を愛好し、主体的に音楽行動を行う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを味わって聞いている。
評価方法	観察、出席状況	観察、演奏の聴取	演奏の聴取	観察、演奏の聴取

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	混声合唱を楽しむ1	[歌唱・合唱] ・Story(AI) ・僕が僕であるために(尾崎豊) ・ジュピター(平原綾香)	○	○	○	○	a:声を出すことやハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組んでいる。 b:旋律・フレーズ・強弱を知覚し、歌詞との関連を考え、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 d:模範演奏を聞いて表現方法を学び、演奏に活かそうとしている。	観察 演奏の聴取 出席状況
2学期	学習発表会に向けて	[歌唱・合唱] ・Let me Live(クイーン) ・TrainTrain(ブルーハーツ)	○	○	○	○	a:　声を出すことやハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組んでいる。 b:　旋律・フレーズ・強弱を知覚し、歌詞との関連を考え、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:　表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 d:　模範演奏を聞いて表現方法を学び、演奏に活かそうとしている。	観察 演奏の聴取 出席状況
	合唱を楽しむ	[歌唱・合唱] ・ひとり(ゴスペラーズ) ・瞳をとじて(平井堅) ・3月9日(レミオロメン)	○	○	○		a:声を出すことやハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組むとともに、園児に積極的に関わろうとしている。 b:旋律・フレーズ・強弱を知覚し、歌詞との関連を考え、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察

3学期	アンサンブルを楽しむ	[歌唱・合唱] グループを組んで、数人でのアンサンブルを楽しむ。	○	○	○	○	a:声を出すことやハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組んでいる。 b:旋律・フレーズ・強弱、全体の流れを知覚し、歌詞との関連を考え、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 d:模範演奏を聞いて表現方法を学び、演奏に活かそうとしている。	観察 演奏の聴取 出席状況

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※ 原則として「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa、b、cの３観点で、「鑑賞」はa、dの２観点で評価する。

※　年間を通じて全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。